

前回委員会でのご意見を受けて事業者を確認を行った事項

○説明を求めた事項

分類	内容
全般	施設に導入する設備の検討状況を明らかにし、それらも踏まえた上で、自主基準値（環境保全目標）の設定の考え方を明確にすること。
全般	事業の各段階における調査・予測・評価に当たっては、環境影響が最大となるような状況（例：旧施設解体時には新施設稼働の影響も考慮）を見込むとともに、環境配慮の方法を検討すること。
大気質	解体工事中の水銀の影響について考慮する必要があるか。
大気質	既存資料調査においては対象としている重金属について、予測・評価において対象とする必要があるか。
騒音振動	発生源の特定に資することもあるため、低周波音・超低周波音について調査を行う際は、施設稼働時と停止時の比較を行った方がよいのではないか。
水質・動物・植物・植物生育環境としての土壌	環境影響評価項目として一部の項目のみが選定されているが、建設工事中や解体工事中に影響する他の項目は選定する必要があるか。
埋蔵文化財	・既存のし尿処理施設を建てる際に明らかになった埋蔵文化財の状況について、作成されている報告書をもとに、どういう遺構・遺物が出たのか、出なかったのかを示すこと。 ・新施設は、既存のし尿処理施設の位置での建設とされているが、新施設の設置範囲及び掘削の位置・深さは、既存のし尿処理施設の範囲等を超えるのかどうかを示すこと。

○準備書段階での検討事項

分類	内容
水質	水質の調査方法の記載について、関連文献の調査等も含めた形で検討すること。
動植物	土砂の搬入出による生態系への影響の可能性について言及してもよいのではないか。